

知っておきたい



中級

ステージ

全5問 / 完了目安 2分

- 何度でもチャレンジできます。
- ステージごとに認定スタンプを進呈します。
- 全てのステージをチャレンジした方にはデジタルオフアープレゼント
- 途中で前のページに戻ったりすると回答がリセットされる場合があります。
- 防災模試では災害時の重要な知識を確認できますが、災害によって状況は異なります。状況にあった最適な判断をしましょう。

スタート

経過時間 00:00

Q1 自宅で地震が発生。次のうち絶対に避けるべき行動はどれ？



台所のコンロの火を急いで消す

机の下に潜る

玄関に移動し、ドアを開ける

解答する

Q1 自宅で地震が発生。次のうち絶対に避けるべき行動はどれ？

正解は

台所のコンロの火を急いで消す

揺れている最中に火元に向かうと、コンロ上のナベやヤカンの中身を浴びて大火傷するなどの恐れがあり、かえって危険です。揺れが治まってから落ち着いて対処しましょう。



もし火災が発生した場合は、大声で周囲に火災を知らせ、電話が繋がれば119番通報をした上で、初期消火を行います。消火器の使い方を確認しておきましょう。

地震が発生したときには、物が「落ちてこない・倒れてこない・移動しない」場所に避難するのが原則です。建物が倒壊するほど揺れが大きい場合を除き、机の下に隠れて身を守ったり、物が比較的少ない玄関に移動してドアを開けたりすることが推奨されます。

次に進む

経過時間 00:00

Q2 キャンプ中に雷雨が発生。このときあなたが取るべき対応として正しいのはどれ？



木の下で雨宿りをする

傘をさす

車の中に入る

解答する

Q2 キャンプ中に雷雨が発生。このときあなたが取るべき対応として正しいのはどれ？

正解は

車の中に入る

夏は雷が多く発生する季節です。落雷に対する正しい対応を学習し、いざという時に身を守りましょう。

まず、木の下で雨宿りをしてはいけません。木の枝や幹を伝わった電流により感電してしまうリスクがあります。同様の理由で、建物の軒先にいることも非常に危険です。

さらに、傘をさしたりゴルフクラブなどを頭上に掲げたりすることもやめましょう。雷は高いところに落ちる性質があるため、被害を受けやすくなってしまいます。



雷から逃げるのに効果的な場所としては、車の中などが挙げられます。金属部分には触れず、出来るだけ車内の真ん中にいるようにしましょう。もし開けた場所におり周囲に車や建物がない場合、つま先立ちになりながら頭を下げてしゃがむことで落雷の危険を下げるができます。

次に進む

経過時間 00:00

Q3 非常食の乾パンとよく一緒に氷砂糖が入っている理由として、「糖分補給」以外で適当なのはどれ？



乾パンをより長持ちさせるため

乾パンの消化を助けるため

唾液の分泌を促すため

解答する

Q3 非常食の乾パンとよく一緒に氷砂糖が入っている理由として、「糖分補給」以外で適当なのはどれ？

正解は

唾液の分泌を促すため

非常食としてお馴染みの乾パンとよく一緒に入っている氷砂糖は、糖分補給のためだけではなく、唾液の分泌を促すことによって水がなくても乾パンを食べやすくするという目的があります。被災時には飲み水の確保が難しいことも多いので、乾パンが水分を吸った後の口内を唾液で潤す必要があるのです。また、甘いものを食べることで気分を落ち着かせたり、疲労を回復させたりという効果もあるのだとか。甘くて美味しいからといって先に全部食べてしまうよりは、乾パンと交互に食べるといいかもしれませんね。

次に進む

経過時間 00:00

Q4 普段から食料品を少し多めに買って置き、使った分を買い足すことで行う備蓄の方法。「『何』ストック」という？



キーピング

イーティング

ローリング

解答する

Q4 普段から食料品を少し多めに買って置き、使った分を買い足すことで行う備蓄の方法。「『何』ストック」という？

正解は

ローリング

この模試に挑戦している防災意識の高いあなたは、普段から災害に備えて備蓄をしているかもしれません。しかし、いざ災害が起こったとき、せっかく備えておいた非常食が賞味期限切れというケースがしばしばあります。

そんな事態を避けるために役立つのが「ローリングストック」。多めに買った食料品を定期的に古い方から食べて補充していくという方法です。期限切れを防げるだけでなく、普段から食べ慣れた非常食を口にすることで、災害時に安心感を得ることができるなど多くのメリットがあります。

備蓄する量の目安は、最低で3日分、できれば1週間分とされています。ローリングストック、今日から始めてみてはいかがでしょうか。



次に進む

経過時間 00:00

Q5 地震後の報道で「高さ1mの津波」の到達が予測された。1mというのは成人の平均身長よりずっと低いですが、どのタイミングで避難が必要？



避難の必要はない

到達後、危険に感じた段階で避難する

速やかに避難する

解答する

Q5 地震後の報道で「高さ1mの津波」の到達が予測された。1mというのは成人の平均身長よりずっと低いですが、どのタイミングで避難が必要？

正解は

速やかに避難する

津波のエネルギーは想像以上に大きく、高さ1mの津波に巻き込まれた場合にはほぼ100%の確率で死亡するとされています。高さ30cmの津波でも人が歩くことは非常に難しいほどです。

そのため、もし大津波警報・津波警報・注意報が出た場合には一刻も早い避難が重要です。海岸から離れ、高台に移動しましょう。また、津波は一度引いても第二波、第三波と襲い来る可能性があります。

収まったと思って帰宅したり、沿岸部に近づいて第二波、第三波の津波被害に遭う例もあるので、警報・注意報が解除されるまでは、被害確認などのために浸水が予想される場所に戻ってはいけません。



次に進む